

前回協議会での主な意見及び意見への対応について

項目	委員名	意見の内容	意見への対応
指標について	山本委員	「ぴーすくる」のサイクルポートの設置数が指標となっているが、サイクルポートによりラック数は様々なので、設置数のみでなくラック数も指標とすべきではないか。	シェアサイクル導入による効果を把握するという観点から、「ぴーすくる」の利用回数を指標としました。 (素案P16 参照)
走行空間整備 ～はしる～について	山本委員	広島駅周辺は自転車の通行量が多い状況である。自転車の通行量を踏まえ、デルタ市街地以外でも整備が必要な場所があれば優先的に整備を進めて欲しい。また、デルタ市街地以外での整備の検討に当たり、自転車交通量等を踏まえ、検討の中でも順位付けを行って欲しい。	デルタ市街地の周辺部においても、自転車の通行量等を踏まえ、整備が必要と考えられる路線については整備対象に加えることを検討する旨を記載しました。 (素案P24 参照)
ルール・マナーの遵守～まもる～について	堀委員	サイクリングクラブ等に交通安全について明確な知識を持った指導者が少ないことが課題である。県警においてルール等の指導が受けられるがそれだけでは足りない。広島県サイクリング協会等に指導者が存在することが望ましい。交通安全の知識がある指導者が少ないという現状から、そうした指導者を増やすという取組があってもよいのではないか。	現在、交通教育施設として運営している大芝公園「交通ランド」について、今後、リニューアル検討を行う際に、自転車の活用に関する機能の追加の一つとして、交通安全に関する指導者育成のための機能について検討を行うこととします。 (素案P55 参照)
活用促進～いかす～について	堀委員	屋外で自然を楽しみながら有酸素運動として自転車で走ることができる推奨コースをモデル的に設定することがスポーツ・健康促進につながるのではないか。市推奨のサイクリングコースを具体的に設定することなどが、市民にとってのスポーツ・健康促進に直接寄与するのではないか。	「施策11 健康づくりへの活用」の具体的な取組として、安全な歩行者空間を確保した上で、健康づくりに適したサイクリングコースの設定について検討を行う、「デルタ内での健康サイクリングコースの設定の検討」を記載しました。 (素案P52 参照)